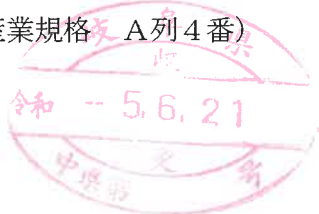


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書							
令和5年6月15日							
都道府県知事 (市長) 岐阜県知事 殿							
提出者 株式会社牧谷局紙 住 所 美濃市御手洗291 氏 名 代表取締役 庄司真一郎 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0575-37-2221							
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。							
事業場の名称	株式会社牧谷局紙						
事業場の所在地	美濃市御手洗291						
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日						
当該事業場において現に行っている事業に関する事項							
① 事業の種類	製紙業						
② 事業の規模	721 (百万円)						
③ 従業員数	28名						
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<table><tr><td>&lt;自社内&gt;</td><td>&lt;業者委託&gt;</td></tr><tr><td>○製紙汚泥・・・脱水処理</td><td>搬出 →分級 →再利用 (セメント原燃料化)</td></tr><tr><td>○紙くず・・・</td><td>搬出 →破碎 →再利用 圧縮 (RPF補助燃料化)</td></tr></table>	<自社内>	<業者委託>	○製紙汚泥・・・脱水処理	搬出 →分級 →再利用 (セメント原燃料化)	○紙くず・・・	搬出 →破碎 →再利用 圧縮 (RPF補助燃料化)
<自社内>	<業者委託>						
○製紙汚泥・・・脱水処理	搬出 →分級 →再利用 (セメント原燃料化)						
○紙くず・・・	搬出 →破碎 →再利用 圧縮 (RPF補助燃料化)						

(日本産業規格 A列4番)



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

- (管理体制図)
- ◎産業廃棄物管理責任者（統括部長）
    - ・ 廃棄物管理の責任者、廃棄物処理計画の作成および実施の責任者
  - ◎産業廃棄物処理責任者（生産グループリーダー）
    - ・ 廃棄物処理の責任者
  - 原料、製造、加工部門
    - ・ 各工程から排出される廃棄物の量および質の把握
    - ・ 各工程での原材料使用料の把握
  - 処理施設部門
    - ・ 廃棄物処理施設の適正な管理、運営
    - ・ 廃棄物処理の維持管理に関わる技術上の業務や処理の遂行（生産グループ課長）
  - 業務部門
    - ・ 委託業者の選定と委託契約の締結
    - ・ 委託業者への処理を発注
    - ・ マニフェストの運用、管理

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	製紙汚泥	紙くず
	排 出 量	1, 0 2 0 t	8 0 t
	(これまでに実施した取組) 製品、原材料の歩留まりの向上		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	製紙汚泥	紙くず
	排 出 量	9 5 0 t	7 5 t
	(今後実施する予定の取組) 製品、原材料の歩留まりの向上		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	製紙汚泥	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	867 t	t
	(これまでに実施した取組) 製紙汚泥の脱水設備の整備		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	製紙汚泥	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	810 t	t
	(今後実施する予定の取組) 製紙汚泥の脱水率の向上		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	製紙汚泥	紙くず
	全 処 理 委 託 量	153 t	80 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	153 t	80 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	製紙汚泥	紙くず
	全処理委託量	140 t	75 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	140 t	75 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ○製紙汚泥 原料調製および抄紙工程での歩留まり向上と、中間処理での 脱水率向上で減量化を図る。  ○紙くず 打ち抜き、加工工程での不良率の低減と、打ち抜き工程での 効率化で減量化を図る。		
	※事務処理欄		